

和辻哲郎



[和辻哲郎 下载链接1](#)

著者:熊野 純彦

出版者:岩波書店

出版时间:2009-9-18

装帧:新書

isbn:9784004312062

『古寺巡礼』『風土』等，その流麗な文体により，かつて青年の熱狂をかきたてたことで知られる〈文人哲学者〉和辻哲郎．日清・日露戦争から二度の世界大戦を経て，戦後に及んだその生と思考の軌跡はいかなるものだったか．当時の思想状況をも参照しつつ，和辻の思考がこの国の哲学に遺した意味を，没後50年を前に問い直す．

作者介绍:

熊野純彦（くまの・すみひこ）1958年、神奈川県に生まれる。1986年、東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。専攻、倫理学、哲学史。現在、東京大学教授。

著書—『レヴィナス入門』（ちくま新書）、『レヴィナス—移ろいゆくものへの視線』（岩波書店）、『ヘーゲル』（筑摩書房）、『カント』（NHK出版）、『差異と隔たり—他なるものへの倫理』（岩波書店）、『戦後思想の一断面』（ナカニシヤ出版）

）、『メルロ＝ポンティ』（NHK出版）、『西洋哲学史 古代から中世へ』
『西洋哲学史 近代から現代へ』（岩波新書）ほか。

訳書一『全体性と無限』（レヴィナス、岩波文庫）、『共同存在の現象学』（レーヴ
イット、岩波文庫）

目録: まえがき

序章 絶筆

第Ⅰ章 ふたつの風景

第1節 故郷

1 村落の追憶 2 父母の影響 3 家族論から

第2節 離郷

1 亀裂の記憶 2 少年の日々 3 地縁共同体

第3節 帝都

1 都市の生活 2 空間と交通 3 歌のわかれ

第Ⅱ章 回帰する倫理

第1節 回帰

1 夫婦と信頼 2 日本古代へ 3 原始仏教へ

第2節 渡航

1 風土論から 2 カント解釈 3 日本語論へ

第3節 倫理

1 マルクスへ 2 倫理の意味 3 関係と身体

第Ⅲ章 時代のなかで

第1節 時代

1 思考の文脈 2 時代の課題 3 経済的組織

第2節 国家

1 日本の運命 2 国家と戦争 3 紀年と国境

第3節 戦後

1 天皇の問題 2 文化と言語 3 晩年の和辻

終章 文人

参考文献／あとかき／年表／人名索引

・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[和辻哲郎 下载链接1](#)

标签

和辻哲郎

熊野纯彦

评论

要言不烦

[和辻哲郎_下载链接1](#)

书评

[和辻哲郎_下载链接1](#)